イニシャルレスポンスカード

円滑な避難所運営のために

For smooth operation
of evacuation shelters

イニシャルレスポンスカード
円滑な避難所運営のために

- 目次

0.はじめに
1.避難者の到着
2.避難所の解錠
3.避難所建物の点検
4.建物への入室と清掃
5.避難所開設の準備①
6.避難所開設の準備②
7.避難者受け入れの準備
8.避難者の受け入れ
9.避難所の資源確認
10.避難所運営委員会の立ち上げ①
11.避難所運営委員会の立ち上げ②
12.避難所運営委員会の立ち上げ③
13.避難所外避難者の把握
14.避難所のレイアウト①
15.避難所のレイアウト②

イニシャルレスポンスカード

0.はじめに

Introduction

0.はじめに

- このカードは、地震等の突然の大きな災害の際に、安全に避難所運営を開始するための初動を示したものです。
- このカードの内容を確認し、避難所開設の準備を進めてください。
- このカードは、避難所に入室するまでの部分のみ、日本語・英語併記版を作成しています。

イニシャルレスポンスカード

1.避難者の到着

Arrival of evacuees

１.避難者の到着

- 地震のような、突然の大きな災害の際は、町職員が避難所を開設することはできません。
- 避難所の鍵を持った人が到着するまで待ちましょう。
- この避難所の鍵を持っている人は、次のとおりです。

  ・大淀糸地区代表自治会長

  ・消防団第３分団長

イニシャルレスポンスカード

2.避難所の解錠

Unlocking the evacuation shelter

2.避難所の解錠

- この避難所は、体育館と校舎の鍵を開けることができます。
- それぞれ、●印のついた扉を開けましょう。
- この他に、備蓄倉庫もあります。詳しくは避難所運営マニュアルを確認して下さい。

イニシャルレスポンスカード

3.避難所建物の点検

Inspection of evacuation shelter buildings

3.避難所建物の点検

- 大きな地震の後は、建物が損傷している可能性があります。
- 中に入っても良いかどうか、別添の「施設安全点検用紙」を用いて**2人以上**で建物の点検を行いましょう。
- この点検が済むまでは、建物の中に誰も入れないようにしましょう。

イニシャルレスポンスカード

4.建物への入室と清掃

Building entry and cleaning

4.建物への入室と清掃

- 3の点検の結果、「安全」と判断した場合、建物に入室できます。
- ただし、地震による窓ガラスの飛散や落下物などの危険がありますので、頭上や足元に注意し、慎重に入ってください。
- ケガ防止のため、上履きを使うか、土足の上からシューズカバーを用いて入室し、清掃・整頓を行ってください。この段階では少人数で入室します。

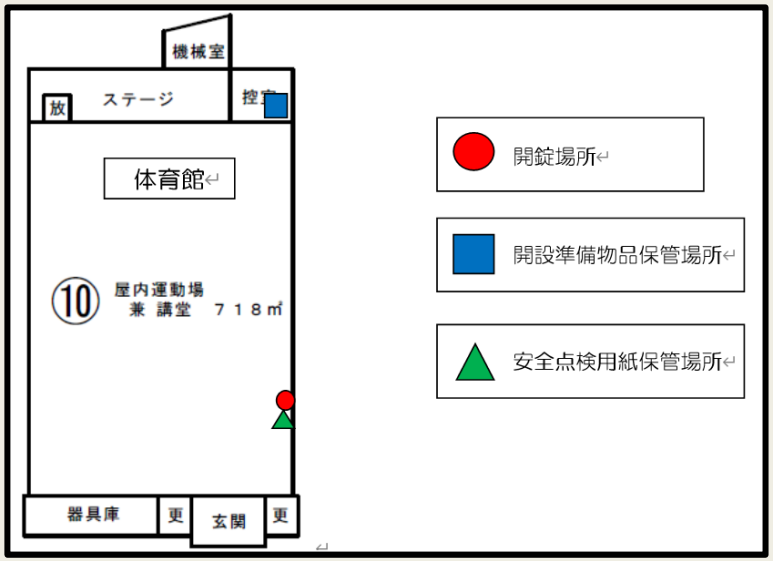
イニシャルレスポンスカード

5.避難所開設の準備①

Preparing to open evacuation shelter #1

5.避難所開設の準備

- 避難者の入室を開始する前に、開設の準備を行います。
- 避難所運営のための事務用品（**開設用物品**）を配備しています。
  最初に確認してください。



- その中にある避難所内の図面を見ながら、以下のような制限すべき場所がないか、複数人で調査してください。
  - 地震被害等を受けて立入が危険な場所
  - 余震での落下物や飛散物が懸念される場所
  - 避難所の管理運営上必要なスペース
  - 防犯上立入を制限すべき場所

イニシャルレスポンスカード

6.避難所開設の準備②

Preparing to open evacuation shelter #2

6.避難所開設の準備

- 先ほど調査した制限すべき場所に、白紙とマジックペンを用いて、状況に応じた制限や注意等のメッセージをわかりやすく掲示します。
（立入禁止・関係者以外立入禁止・頭上注意など）

- 施設のトイレは、下水道や浄化槽の破損が考えられますので、安全であると確認できるまでは直接の使用を中止します。男性用小便器も使用しません。
  - トイレ個室が安全で、トイレ本体（便器）に損壊がみられない場合は、便器に袋をかぶせ、トイレ処理剤を用いて使用できます。その際、トイレ本体に直接用を足さないよう注意の掲示が必要です。
  - トイレ本体に損壊があっても、トイレ個室が安全な場合は、簡易トイレ本体を個室に設置して、トイレ処理剤用いて使用できます。その際、破損したトイレ本体を使用しないよう注意の掲示が必要です。
  - トイレ個室に損壊がみられ危険な場合は、そのトイレを使用禁止とし、別の場所にトイレテントと簡易トイレ本体を設置します。その際は、トイレに使用できない旨を掲示する必要があります。
  - 簡易トイレ、トイレテント、トイレ処理剤は、防災備蓄倉庫に入っています。ただし、近隣の避難所で使用する分も含んでいます。
  - 使用禁止や注意の掲示は、白紙とマジックペン等を用いて、目立つよう、わかりやすく掲示することが大切です。また、汚損等がないか、定期的に確認しましょう。

イニシャルレスポンスカード

７.避難者受け入れの準備

Preparing to accommodate evacuees

7.避難者受け入れの準備

- 避難所運営マニュアルに基づき、応急的な対応者を決定しましょう。

  （自治会長・民生委員のうち、最初に到着した3名が協力して対応することになっていますが、人員が足りない場合は自治会長・民生委員の経験者も含めましょう。）

- 受付を行うまでの待機場所を定め、必要に応じて入室を待つ避難者を誘導します。

  （原則は体育館内後方の安全な場所とし、天候や季節によって屋外も可）

- 移動系防災無線を用いて、避難所を開設した旨と概ねの避難者数を災対本部に報告します。できれば、電気・水道・通信などのライフライン状況も伝えます。（防災無線は校長室にあります。開けられない場合など、防災無線が使用できない場合は電話等の他の手段を検討してください。）

  →以後、本部の決定した時間を基準に、2時間ごとに報告が必要です。

- 白紙や模造紙を用いて、開設したことや入口・受付の場所、注意事項等を示す掲示を行います。

イニシャルレスポンスカード

8.避難者の受付

Evacuee reception

8.避難者の受付

- 当初の受付は世帯ごとに性別・人数と自治会のみを聞き取り、避難者の概数を把握します。（例：代表者明和太郎　男２人・女２人●●自治会）この時は、避難者名簿様式は使用せず、白紙等を用いて簡単に取りまとめます。受付スペースを自治会ごとに設置するとスムーズですが、地区内に自治会が多い場合は大字単位での設置を検討します。
- 取りまとめた結果は、災害対策本部に追加報告します。
- 受付の際に、避難者名簿の様式を配布し、必ず期限を設けて世帯ごとに詳細な情報を取りまとめます。（期限は2日程度を目安に、できるだけ早く）
- 避難者名簿は、避難者一覧表に転記し、避難所管理に活用します。
- 地域コミュニティの維持や顔の見える関係を作るため、原則として行政区（自治会）ごとに居住スペースを指定します。モデルレイアウトを参考にしてください。
- 自治会ごとに避難者組を編成し、代表者を定めるよう依頼します。（自治会長が避難所内にいる場合は自治会長に依頼しましょう）

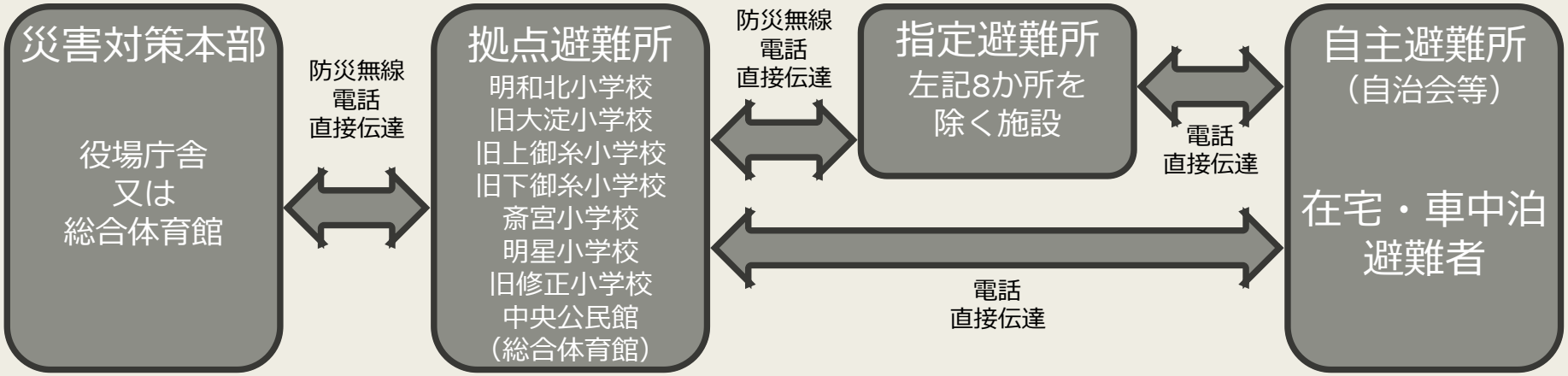
イニシャルレスポンスカード

9.避難所の資源確認

Checking evacuation shelter resources

9.避難所の資源確認と報告

- 施設内の使用できる物資や場所を確認しましょう。
- 災対本部に対し、物資やライフラインの状況と必要な支援等を伝えます。
- 大規模な災害時には、迅速な支援が難しい場合が多いので、避難者どうしで助け合って生活する体制を作りましょう。
- 防災倉庫にある物資は、この避難所で使用するものだけではありません。近隣の避難所の分も含めた物資であることに留意して下さい。
- 避難所と災対本部の情報伝達の流れは以下のとおりです。



イニシャルレスポンスカード

10.避難所運営委員会の立ち上げ①

Form a steering committee

of evacuation shelter #1

10.避難所運営委員会の立ち上げ①

- 避難所を長期的に運営していくため、避難者が中心となる避難所運営委員会を立ち上げます。
- 運営委員長は、以下のとおり選出することを案としていますが、実際の状況により臨機応変に検討することができます。広く避難者の理解を得られる人選とすることが重要です。
  - *「7.避難者受け入れの準備」で決定した、応急的な対応者3人の協議により、避難所内の自治会長から選出する。ただし、適任者がいない場合は、自治会長経験者も対象にする。*

イニシャルレスポンスカード

11.避難所運営委員会の立ち上げ②

Form a steering committee
of evacuation shelter #2

11.避難所運営委員会の立ち上げ②

- 続けて、副委員長と各運営班長を選出します。班の設置は、避難所運営マニュアルを参考に、人数や状況によって統合・分割することができます。選出方法案は以下のとおりですが、実際の状況により臨機応変に検討することができます。広く避難者の理解を得られる人選とすることが重要です。
- 副運営委員長は、以下のとおり選出することを案としています。
  - *先ほど決定した運営委員長と応急的な対応者3人の協議により、避難所内の自治会長・民生委員の中から3名選出し、そのうち女性を1名以上選出するよう努める。ただし、適任者がいない場合は、他の避難者から選出することもできる。*
- 各運営班長は、以下のとおり選出することを案としています。
  - *委員長・副委員長の協議により、避難者の中から指名し、男女比の均衡を図ることとする。多様な視点を取り入れ、看護師・介護士や自衛隊・警察・消防OBなどの有識者を積極的に起用するよう努める。*

イニシャルレスポンスカード

12.避難所運営委員会の立ち上げ③

Form a steering committee
of evacuation shelter #3

12.避難所運営委員会の立ち上げ③

- 組織体制が決定したら、第1回の運営委員会を開催します。
- 第1回運営委員会では、応急的な対応者からこれまでに行った対応の引継を受けるとともに、各班の担当内容を全体で確認し、今後の方針や優先順位を共有します。
- また、各班で避難所運営に協力する人員を募集します。避難所は、避難者同士で運営するものですので、避難者の人数にもよりますが、原則としてすべての人に何らかの役割を担っていただくことが重要です。場合によっては、すべての避難者をいずれかの班に割り振る方法もあります。
- 並行して、避難者支援のための窓口を設置し、担当者を決定します。必要な窓口の例は以下のとおりですが、状況により変更してください。
  - *避難者受付窓口……避難所外を含む避難者の受付や情報管理*
  - *食料・物資配布窓口……食料や物資の配布や配布状況の管理*
  - *情報問い合わせ窓口……生活再建や各種手続き等の情報に関する応対*

イニシャルレスポンスカード

13.避難所外避難者の把握

Collect information
of evacuees outside evacuation shelter

13.避難所外避難者の把握

- 避難所に来ている人だけが避難者ではありません。できるだけ早い段階で、家や車にいる避難者を把握し、支援の対象とすることが重要です。
- 避難所は、避難所にいる人だけでなく、外にいる人に対しても物資や情報を提供する拠点でなければなりません。
- 自治会長や自治会役員を通じて、地域に残っている人の情報を少しずつ収集し、避難所内の人と同じように名簿化していく必要があります。
- 災害対策本部からも、避難所外避難者に対し、物資や情報を得て名簿を登録するため、世帯や地域の代表の方に対し、一度近くの避難所に来るよう呼びかけます。
- 避難所で必要な物資や情報は、避難所外避難者への支援も含めて考える必要があることに留意して下さい。

イニシャルレスポンスカード

14.避難所のレイアウト①

Layout of the evacuation shelter #1

14.避難所のレイアウト①

Layout of the evacuation shelter #1

- モデルレイアウトを参考に、避難所の**建物内**には以下のようなスペースを確保します。あくまでも一例ですので、避難所運営委員会で検討して決定してください。

  - *居住スペース……自治会別配置を推奨*
  - *受付場所……入口に近く、居住者の動線を妨げない場所*
  - *掲示板スペース……避難者が確認しやすい場所（屋外にも設ける）*
  - *物資スペース……避難者が自由に出入りできず、管理しやすい場所*
  - *救護スペース……目隠しができ、清潔を保てる場所*
  - *洗濯干しスペース…目隠しができ、風通しがよく防犯上安全な場所*
  - *更衣室・授乳室……プライバシーを確保でき、防犯上安全な場所*
  - *運営委員会本部……できるだけ避難者の目に触れずに会議等を行え、名簿等の資料を安全に管理できる場所*

イニシャルレスポンスカード

15.避難所のレイアウト②

Layout of the evacuation shelter #2

15.避難所のレイアウト②

- モデルレイアウトを参考に、避難所の**建物外**には以下のようなスペースを確保します。あくまでも一例ですので、避難所運営委員会で検討して決定してください。

  - *掲示板スペース……避難者が確認しやすい場所（屋内にも設ける）*
  - *車中泊エリア……車両動線を確保できる場所*
  - *炊き出しスペース…火気使用や行列の整理ができ、車両の入れる場所*
  - *ごみスペース……臭気・動物・害虫対策に加え、回収車両のアクセスにも考慮した場所*
  - *ペット受け入れ……屋根付きの屋外を基本に、避難者の事故やアレルギーにも配慮した場所*
  - *簡易トイレの設置…臭気などの衛生対策を考慮しつつ、要配慮者のアクセスにも配慮／仮設トイレに置き換わると、し尿汲み取りが必要なため車両アクセスも考慮*

これ以降は、避難所運営マニュアルを参考に、運営委員会で協議の上運営していくことになります。

- 以下のような視点を忘れずに、必要に応じて災害対策本部との連携を取りながら、避難者の生命と健康を守るための避難所運営にご協力をお願いします。
  - *避難所は共同生活を行う場所です*
  - *多様な方で構成され、非常時であっても合理的な配慮が常に求められます*
  - *配慮を要する人の存在を常に意識し、すべての人にやさしい生活環境を目指すことが重要です*
  - *避難所にいる人だけが避難者ではなく、町民全員が被災していることを念頭に思いやりの心を持って運営してください*
  - *「多くの人の意見」ではなく、「多様な人の視点」を取り入れた運営や配慮を行うことが必要です*
  - *情報は受け手のことを考え、必要に応じて「ピクトグラム」や「やさしい日本語ガイドライン」を参考に、わかりやすい発信を心がけましょう*

日本語・英語併記版
Written in
Japanese and English

INITIAL RESPONSE CARDS

円滑な避難所運営のために

For smooth operation of evacuation shelters

INITIAL RESPONSE CARDS

円滑な避難所運営のために

For smooth operation of evacuation shelters

■ Table of Contents

0.Introduction

1.Arrival of evacuees

2.Unlocking the evacuation shelter

3.Inspection of evacuation shelter buildings

4.Building entry and cleaning

日本語・英語併記版
Written in
Japanese and English

INITIAL RESPONSE CARDS

0.はじめに

Introduction

0.はじめに

Introduction

- このカードは、地震等の突然の大きな災害の際に、安全に避難所運営を開始するための初動を示したものです。
- このカードの内容を確認し、避難所開設の準備を進めてください。
- このカードの内容は、避難所に入室するまでの部分のみ、日本語と英語で記載しています。
- *These cards show the initial steps to take to safely start operating an evacuation shelter in the event of a sudden major disaster , such as an earthquake.*
- *Please check the information on these cards and proceed with preparations to open an evacuation shelter.*
- *The contents of these cards are written in both Japanese and English only up to the point of entering the evacuation shelter, and the rest is written in Japanese only.*

日本語・英語併記版
Written in
Japanese and English

INITIAL RESPONSE CARDS

1.避難者の到着

Arrival of evacuees

Ⅰ.避難者の到着

Arrival of evacuees

- 地震のような、突然の大きな災害の際は、町職員が避難所を開設することはできません。
- 避難所の鍵を持った人が到着するまで待ちましょう。
- この避難所の鍵を持っている人は、次のとおりです。

  ・大淀地区代表自治会長　　・消防団第3分団長

- *In the event of a sudden major disaster , such as an earthquake, town officials will not be able to open evacuation shelters.*
- *Please wait until the people with the keys to the evacuation shelter arrive.*
- *The people who have the key to this evacuation shelter are …*

  ・Representative of the Oyodo Residents' Association Federation

  ・Chief of the 3rd Division of the Fire Brigade

日本語・英語併記版
Written in
Japanese and English

INITIAL RESPONSE CARDS

2.避難所の解錠

Unlocking the evacuation shelter

2.避難所の解錠

Unlocking the evacuation shelter

- この避難所は、体育館と校舎の鍵を開けることができます。
- それぞれ、●印のついた扉を開けましょう。
- この他に、備蓄倉庫もあります。詳しくは避難所運営マニュアルを確認して下さい。

- *At this evacuation shelter, the gymnasium and school building can be unlocked.*
- *Open the doors marked with ● in each building.*
- *There is also a storage warehouse. For details, please refer to the evacuation shelter operation manual.*

日本語・英語併記版
Written in
Japanese and English

INITIAL RESPONSE CARDS

3.避難所建物の点検

Inspection of evacuation shelter buildings

3.避難所建物の点検

Inspection of evacuation shelter buildings

- 大きな地震の後は、建物が損傷している可能性があります。
- 中に入っても良いかどうか、別添の「施設安全点検用紙」を用いて2人以上で建物の点検を行いましょう。
- この点検が済むまでは、建物の中に誰も入れないようにしましょう。
- *A large earthquake may have caused damage to the building.Please wait until the people with the keys to the evacuation shelter arrives.*
- *To determine whether it is permissible to enter a building, please inspect the building with two or more people using the attached "**Facility Safety Inspection Form**" located near the entrance.*
- *Do not allow anyone into the building until this inspection is completed.*

日本語・英語併記版
Written in
Japanese and English

INITIAL RESPONSE CARDS

4.建物への入室と清掃

Building entry and cleaning

4.建物への入室と清掃
Building entry and cleaning

- 3の点検の結果、「安全」と判断した場合、建物に入室できます。
- ただし、地震による窓ガラスの飛散や落下物などの危険がありますので、頭上や足元に注意し、慎重に入ってください。
- ケガ防止のため、上履きを使うか、土足の上からシューズカバーを用いて入室し、清掃・整頓を行ってください。この段階では少人数で入室します。
- *If the inspection in item 3 is deemed safe, you may enter the building.*
- *However, there is a risk of window glass shattering or falling objects due to an earthquake, so please be careful when entering, and be mindful of your head and your feet.*
- *To prevent injury, please wear indoor shoes or shoe covers over your shoes when entering the room and cleaning and tidying up. Please enter the building in small numbers at this stage.*